

安全就業ニュース

公益社団法人全国シルバー人材センター事業協会

★今月の事故★



すべての災害は防ぐ
ことができる

1. 事故の概要（就業中）

2名で寺敷地内の土手を刈払機による草刈り作業していた。午後仕事開始後、「蜂に刺されたため病院へ行く」と顔色も悪くなく平気そうであったので一人で送り出した。その後、寺の駐車場で倒れているところを近所の人に発見され、その場で心臓マッサージ後、救急搬送されたが、アナフィラキシーショックによる急性心不全で死亡した。

ご家族によると15年ほど前にもボランティア中、蜂に刺され病院に行ったことがあったとのこと。

2. 事故の原因

蜂の毒によるアナフィラキシーショックによる心不全。

3. 事故後の対応及び再発防止策

【センター】

- ① 理事会、安全管理委員会で事故について報告。
- ② 植木班、除草班に対し、注意喚起文書を送付。
- ③ 全会員に対し注意喚起文書（安全だより）を送付
- ④ 植木や除草作業開始前の確認事項に蜂に対するチェック項目を追加し、周囲に蜂はいないか、蜂に刺された経験があるか、殺虫剤を用意したかの確認をすることとした。

【連合本部】

暑くなってくるとともに除草作業中に、蜂に刺される可能性が高まることから、身を守るための服装や刺された場合の対応策などを事前に確認して作業にあたること。

万が一刺された場合は、速やかに医師の手当てを受けることの周知徹底を図ること。

4. 全シ協から

令和2年度の統計で「蜂、犬、蛇等に刺され、噛まれ」の事故は865件発生し、事故総数の18%と多く、重篤事故にはなりにくいと言われてきましたが、残念ながら大きな事故となってしまいました。暑くなってくるとともに屋外での作業が多いことから取り上げることにしました。

蜂に刺された場合に蜂毒にアレルギーがなければ刺された箇所に軽い痛みやかゆみ、腫れなどが起こり何日かで消えていきます。しかし、蜂毒アレルギーがあると刺された人の10%くらいが、全身のじんましんなどの皮膚症状や嘔吐、呼吸困難などが起こるアナフィラキシーを引き起こすといわれています。そのうち数%は意識障害や急な血圧低下によるアナフィラキシーショックを起こすとされ、命の危険がおよぶ確率が高くなります。また、過去に蜂に刺されたことがある方は、アナフィラキシーを起こす危険があるので、抗体検査をしておくことをお勧めします。

その結果、抗体がある場合は、就業を控える、救急対応器具（蜂毒吸引機）を携行するなどの

対応をお願いします。

夏から秋にかけて蜂が多く発生する場所での就業は皮膚の露出をできる限り控えるか、事前に就業場所に蜂がないかの下見をするなど確認をしてから作業にあたって下さい。

蜂に刺されて、アナフィラキシーを疑う症状が出た場合は、すぐに119番通報をして救急車を呼んでください。自分の身を守る行動と事前の確認を怠らないようお願いします。

令和3年6月（令和3年度）事故速報

(1) 重篤事故

6月は、3件の重篤事故報告がありました。

6月までの累計で比較してみると、令和2年度の9件と比して令和3年度は5件と4件減少しています。

また、就業中・就業途上別にみると、就業中では令和2年度の8件と比して3件と5件の減少となっており、就業途上については、令和2年度の1件と比して2件と1件の増加となっています。

6月報告分までの累計

令和3年度累計	就業中・ 就業途上	件数	内 訳				令和2年度同月累計					
			事故の程度		性別		計	事故の程度		性別		
			死亡	入院	男性	女性		死亡	入院	男性	女性	
就業中	3(2)	2(2)	1(0)	3(2)	0(0)	就業中	8	3	5	8	0	
就業途上	2(1)	1(0)	1(1)	0(0)	2(1)	就業途上	1	1	0	1	0	
計	5(3)	3(2)	2(1)	3(2)	2(1)	計	9	4	5	9	0	

↳ 対前年度比 55.5% ()は、当月報告分です。

6月報告分内容

No.	性別等	仕事内容等	事故の状況	安全 帽	安全 帯	交通 手段
3	女 73歳	就業途上 (入院中)	就業終了後、市道（両端の歩道を含む1.6m片側1車線）の歩道部分を自転車で走行中、同市道に接するコンビニエンスストアの大型駐車場に入ろうとした大型トラックに巻き込まれ重傷。	—	—	自転車

4	男 73 歳	就 業 中 (死 亡)	寺敷地内の土手を刈払機による草刈り作業中、蜂に刺されたため病院へ行くと言って現場を離れた。その後、寺の駐車場で倒れているところを近所の人に発見され、救急搬送されたが、アナフィラキシーショックによる急性心不全で死亡。	—	—	—
5	男 66 歳	就 業 中 (死 亡)	市道沿いの立木伐採作業中に発生。擁壁(3.5m)上部の立木伐採中に滑落し負傷(外傷性クモ膜下出血、第二頸椎、腰椎骨折)。入院していたが死亡。	○	×	—

(2) 1ヶ月～6ヶ月未満の入院及び後遺障害の事故

6月は、就業中の事故10件、就業途上の事故1件と、合計11件であり、昨年度同月の26件と比して15件の減少となっています。また、男女別では、男性は5件の減少となっており、女性は3件の減少となっています。

6月までの累計で比較してみると、昨年度の49件と比して、本年度は50件と1件の増加となっています。就業中・就業途上別にみると、就業中は38件で3件の増加となっており、就業途上は12件で2件の減少となっています。男女別では、男性は3件の減少となっており、女性は14件で4件の増加となっています。

令和3年度6月分

	仕事の内容	事故数(件)		男性(件)		女性(件)		平均年齢(歳)		
		6月	累計	6月	累計	6月	累計	6月	累計	
就 業 中	植木・樹木の剪定等	6(7)	17(13)	6(7)	17(13)	0(0)	0(0)	75	75	
	除草作業	2(3)	6(5)	2(3)	5(5)	0(0)	1(0)	74	74	
	屋内・屋外清掃作業	2(4)	9(7)	1(1)	5(2)	1(3)	4(5)	73	74	
	その他	0(4)	6(10)	0(3)	4(9)	0(1)	2(1)	—	76	
	計	10(18)	38(35)	9(14)	31(29)	1(4)	7(6)	75	75	
就 業 途 上	交 通 手 段	徒歩	1(4)	5(5)	0(3)	1(3)	1(1)	4(2)	87	80
		自転車	0(3)	4(8)	0(2)	2(6)	0(1)	2(2)	—	80
		バイク	0(1)	3(1)	0(1)	2(1)	0(0)	1(0)	—	72
		自動車	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	—	—
		計	1(8)	12(14)	0(6)	5(10)	1(2)	7(4)	87	78
合 計		11(26)	50(49)	9(20)	36(39)	2(6)	14(10)	75	75	

()は令和2年度同月の発生件数

「シルバー人材センター団体傷害保険に係る事故件数等報告書」については、事故の有無にかかわらず毎月8日までに必ず提出願います（平成30年4月24日付 事務局長通達により通知済）。

※ シルバー団体傷害保険の支払いが確定した事故については、速やかに「シルバー団体傷害保険に係る事故件数等報告書」により報告し、報告漏れがないようお願いいたします。

(3) シルバー派遣事業における労働災害報告の事故(休業1ヶ月以上)

4月は仕事の型別では、「清掃の業務」3件、「商品販売の職業」「家庭生活支援サービスの職業」「農業の職業」「機械組立の職業」「自動車運転の職業」「包装の職業」「その他の運搬・清掃・包装等の職業」がそれぞれ1件あり、合計10件でした。前年同月の5件と比較して5件の増加となっています。また、男女別では、男性は4件の増加となっており、女性は1件の増加となっています。

なお、4月に死亡事故はありませんでした。

令和3年度4月分

	仕事の型(中分類)	中分類 コード	事故数(件)		男性(件)		女性(件)		平均年齢(歳)	
			4月	累計	4月	累計	4月	累計	4月	累計
業 務 災 害	商品販売の職業	32	1 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	1 (0)	63	63
	家庭生活支援サービスの職業	35	1 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	1 (0)	65	65
	その他のサービスの職業	42	0 (1)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (1)	—	—
	農業の職業	46	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	64	64
	製品製造・加工処理の職業	54	0 (1)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (1)	—	—
	機械組立の職業	57	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	78	78
	自動車運転の職業	66	1 (0)	1 (1)	1 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	69	69
	清掃の業務	76	3 (2)	3 (2)	2 (1)	2 (1)	1 (1)	1 (1)	76	76
	包装の職業	77	1 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	1 (0)	77	75
	その他の運搬・清掃・包装等の職業	78	1 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	80	80
計	—	10 (5)	10 (6)	6 (2)	6 (2)	4 (3)	4 (3)	72	72	

() は令和2年度同月の発生件数

令和2年4月以降に発生した「派遣労働会員の業務災害(休業日数4日以上又は死亡)」、「派遣労働会員の通勤災害(休業日数4日以上又は死亡)」については、「全シ協会員専用ページ」の「シルバー派遣事業における労働災害報告」により、各月翌月最終稼働日までにご入力ください。また、労働災害(業務・通勤ともに)が発生しなかった場合も「労働災害未発生報告」を選択のうえ、各項目をご入力ください。

(令和2年4月22日付 2全シ協発第12号により通知済)

★ 安 全 リ シ ー ★

～宮崎県における安全就業の取組～

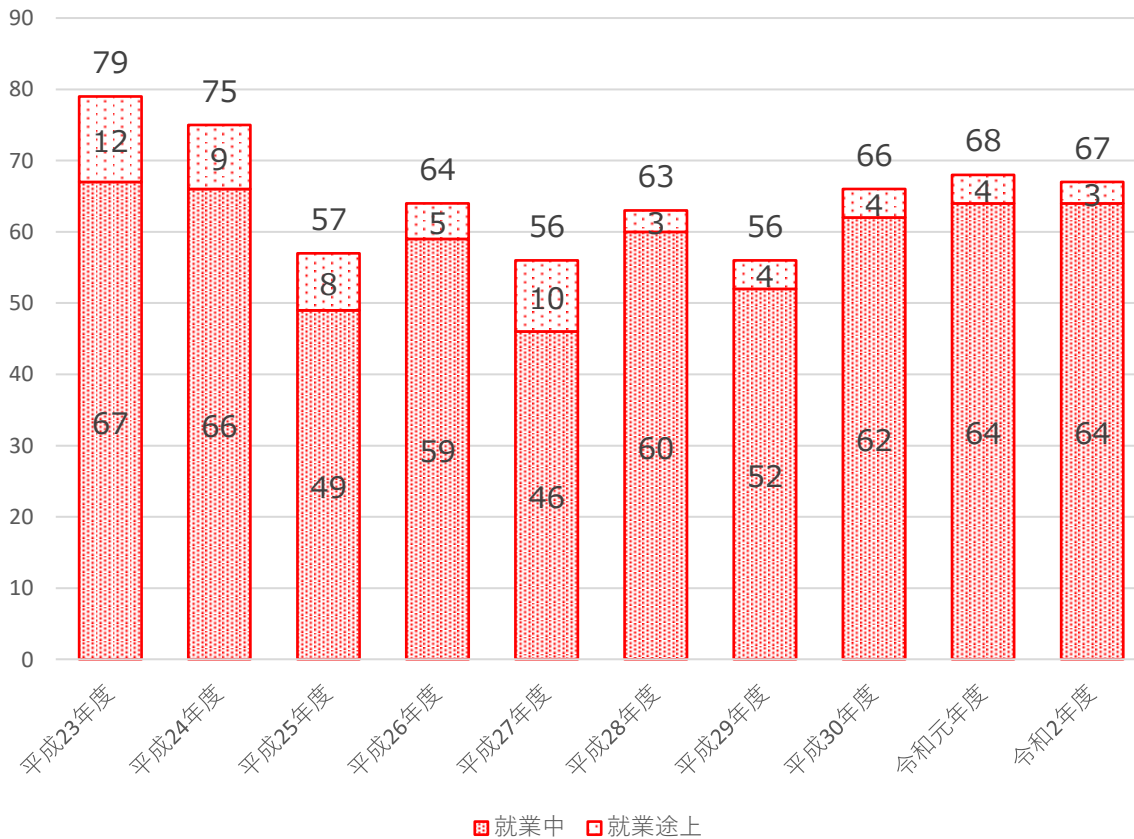
1 宮崎県シルバー人材センター連合会の概要（令和3年3月末時点）

- 国庫補助対象センター 13 拠点
- 小規模センター 8 拠点
- 会員数 5,478 名（男性 3,438 名 女性 2,040 名）
- 派遣登録会員数 1,221 名（男性 851 名 女性 370 名）
- 粗入会率 1.3%
- 事業実績（令和2年度）
 - ◇契約件数 請負 38,077 件 派遣 334 件
 - ◇就業延べ人員 請負 449,414 人日 派遣 54,473 人日

2 事故発生状況（年度統計データ）

項目	傷害事故件数（件）			就業実人員 （人）	就業実人員に 対する傷害 事故発生率
	就業中 （内、死亡事故）	就業途上 （内、死亡事故）	合計		
平成 23 年度	67(1)	12	79(1)	5,662	1.40%
平成 24 年度	66	9	75	5,485	1.37%
平成 25 年度	49	8	57	5,306	1.07%
平成 26 年度	59(1)	5	64(1)	5,319	1.20%
平成 27 年度	46	10	56	5,476	1.02%
平成 28 年度	60	3	63	5,495	1.15%
平成 29 年度	52	4	56	5,447	1.03%
平成 30 年度	62(1)	4(1)	66(2)	4,692	1.41%
令和元年度	64	4	68	4,648	1.46%
令和2年度	64	3	67	4,453	1.50%

年度別傷害事故件数の推移



3 主な安全就業の取組

安全衛生委員会及び安全衛生推進委員会において、5つの基本項目からなる安全衛生計画に基づき、以下に掲げる事業の実施予定及び実績について審議している。

(1) 安全就業パトロール

連合会では、安全・適正就業強化月間に合わせ、毎年7月と10月に県内の7～8箇所のシルバー人材センターを対象に、安全パトロールを行っている。

その際、センター間の人的交流や安全に関する情報の共有等を目的として、連合会のパトロールに合わせて他のセンターの職員が同行する取組を行っている。あらかじめ同行希望者を各センターに募り、オブザーバー的な立場でパトロールに参加してもらう。パトロール終了後には、その日のパトロールの内容についての問題点や改善点を話し合うほか、自センターとの取組の違いや、安全就業推進についての悩みなども率直に話し合う時間を設け、センター職員間のネットワーク強化にもつながっている。



令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大などの影響により、他センターの職員が同行できたのは1回だけだった。今年度は、新型コロナウイルスの感染状況やワクチンの接種状況等を確認しながら、できるだけ他センターも参加できる形で安全パトロールを実施したいと考えている。

(2) 安全衛生研修会

令和2年度は、県内各センターの安全委員や安全担当理事など74名の参加を得て、7月21日に安全衛生研修会を開催した。

連合会の産業医である串間市民病院の江藤敏治院長を講師に迎え、「新型コロナウイルス感染症におけるシルバー人材活動～安全・安心のためのリスクマネジメント～」と題して講演を行うとともに、連合会から、シルバー人材センターでの事故発生状況についての報告を行った。



(3) 安全標語

連合会では、安全就業に対する意識啓発を図るため、毎年県内センターの会員、役職員から安全標語を募集している。連合会理事・監事で構成する安全標語委員会で審査し、入賞作品を表彰するとともに、連合会が作成するカレンダーに掲載するなど、安全啓発ツールとして活用している。

昨年度に募集要項を見直し、これまでのセンターに応募があった作品を全て連合会に提出する方式から、センターで応募作品を取りまとめ、会員作品2点及び役職員作品1点を推薦する方式に改めたところである。

この見直しが功を奏し、これまで応募がなかったセンターからも作品の推薦があり、初めて今年度県内すべてのセンターから作品の推薦があった。安全就業の意識啓発という意味では、一定の成果があったのではないかと考える。来年度以降も各センターと協力しながら安全就業意識の徹底を図っていきたい。

【令和3年度 宮崎県シルバー人材センター連合会 安全標語】

<最優秀(会員)> 体力は過信しない無理せずに 等身大の安全作業

<最優秀(役職員)> 過信の裏に事故ひそむ 初心にもどって 安全就業

(4) 連合会独自の事故調査

平成26年度より、シルバー保険適用の有無にかかわらず、当該月内に各センターが把握した傷害事故(軽微な怪我なども含む。)を報告してもらい、独自にデータベース化し、理事会や事務局長会議などの資料として活用している。

令和3年度からは、賠償事故について、年度統計よりもっと即時性のあるデータを提供してほしいとの理事会からの要望を受け、賠償事故についても、独自調査を行いデータベース化することとした。今後は、調査結果を踏まえ、賠償事故の傾向の分析や対策に役立てていきたいと考えている。

4 今後の課題

平成の最後に死亡事故が立て続けに2件発生して以降、令和になってから死亡事故は起きていない。しかし、今回改めて過去のデータを見てみると、3~4年おきに死亡事故が発生していることから、今一度気を引き締めて、「安全がすべてに優先する。」ことを念頭に、会員への啓発にも一層力を入れなければならないと考えている。

また、ここ数年の傷害事故の件数だけを見れば、ほとんど変わらない数で推移しているものの、受注実績や就業実人員は減少傾向にあることから、事故率は上昇していることがうかがえる。

事故を減らすためには、現場で就業している会員一人ひとりが、安全について自らのこととして意識して考え、実践することが重要である。連合会としては、センターと連携して、繰り返し啓発や情報発信を行いながら、シルバー事業にかかわるすべての会員及び職員の安全意識の向上に努めたい。

宮崎県シルバー人材センター連合会様からの報告でした。
詳細にわたるご報告、誠にありがとうございました。

★新しい生活様式における熱中症予防行動のポイント★

新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐために「新しい生活様式」として一人ひとりが感染防止の3つの基本である①身体的距離の確保 ②マスクの着用 ③手洗いや「3密(密集、密接、密閉)」を避ける等の対策を取り入れた生活様式を実践することが昨年から求められています。

注 意 マスク着用により、熱中症のリスクが高まります

マスクを着けると皮膚から熱が逃げにくくなったり、気がつかないうちに脱水になるなど、体温調整がしづらくなってしまいます。暑さを避け、水分を摂るなどの「熱中症予防」とマスク、換気などの「新しい生活様式」を両立させましょう。

※令和3年度に必要な熱中症予防行動について、環境省と厚生労働省において資料を作成
令和3年度の熱中症予防行動（リーフレット）（※画像をクリックするとPDFをダウンロードできます）。ご活用ください。

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000121431_coronanettyuu.html

熱中症には十分
気をつけてくださ
い。



安全関係の頒布物のご案内

全シ協では、シルバー人材センター事業を円滑に運営・推進していただく一助として、手引書、冊子などの頒布物を発行しています。

安全就業のためのチェックポイント



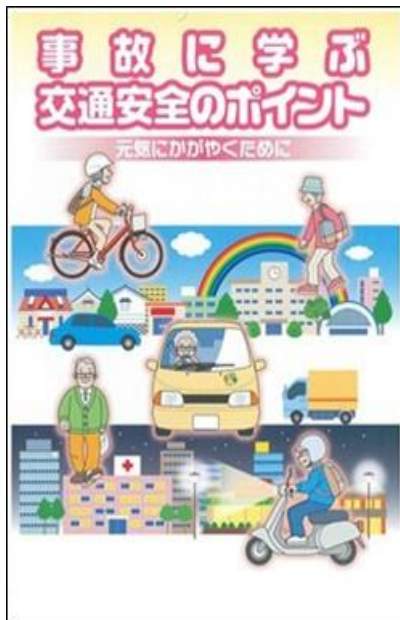
会員が安全に就業するための要点を、全カラー版でまとめたイラスト小冊子です。
A4判 32頁（10部以上からの販売）
価格 税込 184円（本体 168円＋税）、送料実費

会員必携安全就業ハンドブック



安全就業の心得をはじめ、仕事別の安全対策などを分かりやすく解説したポケット版の会員必携ハンドブックです。
変形 B7判（縦 12.5cm × 横 7.6cm）44ページ
○全国版（10部以上からの販売）

事故に学ぶ交通安全のポイント



交通事故の被害者にも加害者にもならず、いつまでも健康で”生涯現役”として活躍していただくため、事故事例に基づき、全カラー版でこの冊子を作成しました。
A4判 20頁（10部以上からの販売）
価格 税込 220円（本体 200円＋税）、送料実費

この3冊は、安全就業の指針を示していますので、会員の皆さまお一人おひとりに、ぜひお持ちいただきたい頒布物です。

お問い合わせは 企画情報課宛、下記 FAX または電子メールでお願いします。

FAX 03-5665-8021 E-mail : zsk@sjc.ne.jp

- ★ご購入は、全シ協会員専用ページの「頒布物の購入申込み」メニューからお申込みください。
- ★個人でのご購入は、冊数、お名前、郵便番号、住所、電話番号を明記したFAX・電子メール・郵便ハガキでお申し込みください。
- ★仕様・価格等、予告なく変更する場合があります。

安全就業スローガン

「いつまでも 働く喜び 無事故から」



チエブクロー反射缶バッジ

安全就業グッズ、普及啓発グッズとして

■商品No.012 チエブクロー反射缶バッジ

最小製作量：100個～、100個単位

100個	本体価格：@	490円(税別)
200個～	本体価格：@	390円(税別)
500個～	本体価格：@	300円(税別)
1000個～	本体価格：@	230円(税別)

サイズ：直径54mm
納期：約4週間
・クリップピン付
・OPP袋入り



絵、文字以外の地の部分が反射します。
※反射缶バッジは、背景部分が反射する為、
背景色を入れることができません。

チエブクロー缶バッジ

普及啓発グッズ、名札代わりにお勧め

編集後記

東京では4回目の緊急事態宣言が発出されましたが、宣言慣れしたのか、街の人も通勤電車の混み具合も変わりません。早いもので梅雨も明け、今年も後半に突入しました。梅雨の後半に各地で甚大な被害をもたらした「線状降水帯」。豪雨災害などの時に市区町村が住民に発令する「避難勧告」は廃止され、「避難指示」に一本化されました。自分住んでいるところの「ハザードマップ」を確認するよう盛んに言われています。幸い、関東平野の真ん中、海も山も川もそばにない風光明媚ではないところの我が家は大丈夫ですが、皆さまはご自宅付近のハザードマップを一度ご確認いただければと思います。そして、夏といえば熱中症。作業中の熱中症予防にはこまめな水分補給と塩分の摂取・適度な休憩とのこと。しかし、熱中症に効くというOS1を飲み過ぎると塩分過多で高血圧、ポカリスエットのようなものを飲み過ぎると糖分過多で糖尿病になる可能性があるので注意が必要だそうです。炎天下で作業をされるみなさまは、今一度、このことを思い出し、一人ひとり意識し、声を掛け合い、暑さに強いカラダで熱中症を防ぐようにしてください。(松山)

暑い夏がやってきました。毎年お盆には妻の実家がある北海道へ行き、自然を満喫し楽しく過ごしてきました。義母は私ととても気が合い居心地が良く、もしも前世というものがあるのだとしたら彼女だったのでは？と思うほどでした。そんな大切な義母ですが、数年前から体調を崩しやすくなり、施設での生活が始まり入退院を繰り返しながら3年半が経ちましたが、遂に力尽きて先月末に亡くなりました。コロナ禍のせいで1年半もの間、一度も直に対面で会えなかったことは心残りです。亡くなる1か月前に、これが最後と思い感謝を綴った手紙と動画を医師に託したところ、明らかにそれが本人の生きる力となり、危篤状態から一時的に回復した事には感動しました。やはり会えなかった事が精神面でかなりの影響を受けていたのだと思います。今回の義母のことで二つのことを学びました。ひとつは、いつその人との別れの日がきても後悔のないように、しっかりと相手に感謝の気持ちを言葉にして伝えたいということ。もうひとつは肉体面です。高齢になるほど体力が低下しやすくなり、対策をしなければ介護が必要な状態になる可能性がでてきます。加齢に伴う変化であっても、十分な栄養摂取や筋力増加の運動など足の筋肉を鍛えることで転倒や寝たきりを防ぐことができます。皆様も生活習慣や運動習慣を見直して、いつまでも元気な足腰を維持していただければと願っています。(高木)